

平成 30 年第 1 回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、3月2日（金）に順位1～5番を、5日（月）に6～10番を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	8番 関 清貴	1 集会施設の整備等について	<p>東日本大震災から7年が経過し、復興計画も発展期に移り着実に整備が進められている。山田第1団地の宅地の引き渡しが進み、住民同士の新たなコミュニティの形成が必要になるかと思うがそこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 山田第1団地の集会所の建築開始年度はいつになるか。</p> <p>(2) 団地内コミュニティ組織構築のための支援を考えているか。</p> <p>(3) 山田第1団地、山田第3団地の呼称の変更を考えているか。</p>
		2 被災消防屯所の整備について	<p>第7分団屯所は東日本大震災で被災し、7年が経過した。町中心部の地域防災の拠点として住民は頼りにしているが、被災した建物は老朽化が進み、団員が休息を取る場所は狭く、駐車スペースも不足し、周辺には雨水排水が溜まるなど決して良い環境とは思えない。そこで次のことを伺う。</p> <p>(1) 第7分団屯所の整備の予定はあるか。</p> <p>(2) 字界が変わり、第6分団、第7分団、第8分団の管轄の変更について検討しているか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	8番 関 清貴	3 交通体系等 について	<p>(1) 災害危険区域の整備や区画整理事業が進み、道路幅員を広げるなど災害に強いまちづくりが進められている。国道45号から龍昌寺までの道路が震災前の形状であるが、幅員を広げ、見通しを良くし、住民の安全と利便性を図る考えはないか。復興も終盤に差し掛かり、新たな道路整備は難しいと思う。しかし、今をおいてほかにはないと思うがいかがか。</p> <p>(2) 「地域公共交通網形成計画」の策定により、バス路線の変更、町内の交通規制の変更もあり得るか。また、町道細浦・柳沢線の整備に伴い交通量の増加が予想されるが、住民・警察等と連携し交通安全が図られるように進めているか。</p>
		4 人口減少対策等について	<p>これからの人口減少対策として、移住希望者に対して相談・支援ができる体制を構築し、空き家の有効活用も考えているようであるがそこで次のことを伺う。</p> <p>(1) 移住コーディネーターの人材はどのような視点で確保するのか。</p> <p>(2) 空き家の有効活用を図るため、改築に対する補助制度を創設する考えはないか。</p> <p>(3) 子育て世代に空き家となっている住宅を低廉な家賃で提供する支援を考えられないか。</p>
		5 起業支援について	<p>起業をめざす方の支援を目的として「創業支援事業計画」を策定するようであるが、本町の活性化のためにどのような支援を考えているか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	8番 関 清貴	6 教育行政について	<p>(1) 学校敷地内の応急仮設住宅も撤去され、教育施設の環境も復旧されようとしている。仮設住宅が建っていた土地は整地され復元されるが、校庭も一体的に整地することはできないか。</p> <p>(2) コミュニティ・スクールと教育振興運動をそれぞれどのように推進していくのか。</p> <p>(3) 学校給食における地元食材の活用については、生産者等との協議が必要であると思うが進んでいるか。</p> <p>(4) 学校の統廃合について慎重に検討することは大事なことだと思う。結論を急ぐわけでないが、いつ頃まで検討する予定か。</p>
2	12番 山崎 泰昌	1 水産振興について	<p>(1) アワビ等種苗放流事業に町としても力を入れている。重要な施策の一つだと認識しているが、放流の結果の検証や効果は把握しているのか。</p> <p>(2) 今年度をめどに復興事業が終了し、今までとは違った目線で町の活性化を考えなければならないと考える。基幹産業である水産業を支援するために水産課を復活させてはどうか。</p> <p>(3) 水産人口の減少が止まらない。今まで町当局に外国人労働者を受け入れるための支援や受入窓口の創設を要望してきたが、町ではどのように考えているのか。</p>
		2 町内のインフラ整備について	<p>(1) 前回の定例会で質問した私道整備の住民への周知は十分か。また申請件数は。</p> <p>(2) 新しく住宅が建設されており、団地もある。下水道への接続状況は。 (次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	12番 山崎 泰昌	2 町内のインフラ整備について (つづき)	(3) 山田駅の完成が近づいている。こ線橋が高くて不便だと考えるが対策は。また観光案内所も考えているようだが、業者の選定は。 (4) 災害の影響を受けなかった豊間根、船越の両駅も放置されたままで外観も美しいとは言えない。対応策は。
		3 観光振興について	(1) 鯨と海の科学館も完成し、公園も整備された。利用客を増やすためにも、飲食店や商業施設等が建てられるように国に要望してはどうか。 (2) 船越半島周遊の観光道路計画の進捗状況は。 (3) 交流人口を増加させることが町の発展につながると考えている。町として通年での観光者を呼び込む計画が必要と思うが、町の考えは。
3	6番 木村 洋子	1 子どもの医療費助成現物給付化について	就学前までの医療費助成の現物給付化は歓迎されており小学生まで拡大すべきである。拡大されれば保護者の経済的かつ精神的負担軽減となり、子育て世帯への大きな支援となる。町の対応を問う。
		2 災害公営住宅の家賃軽減と除雪について	(1) 所得超過世帯はどれくらいあるのか。また、家賃負担が大きいため退去した世帯はあるか。 (2) 被災者の生活再建を後押しするという意味で家賃の軽減は歓迎される。町としての対応を問う。 (3) 災害公営住宅の入居者は高齢化率が高い傾向にある。降雪時、除雪の人手が足りないため敷地内通路の除雪ができず、緊急時やデイサービス搬送時などに不安を感じている。町として除雪の支援をするべきではないか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	6番 木村 洋子	3 壁面タイプの水道メーター設置について	<p>積雪と低温凍結で水道メーターの検針困難の状況が見られる。詳しい内容は。</p> <p>検針できない場合、使用料の請求はどうなるのか。また、従来の地面設置タイプのメーターは、泥水が流入したり、検針しにくい場合がある。検診が正確にできて利用者の安心にもつながる壁面タイプのメーターに切り替えていくべきではないか。</p>
		4 仮設施設の7月退去について	<p>(1) 仮設から本設へ移行できた事業者の数は。</p> <p>(2) 7月いっぱい仮設から退去と言われた事業者数と本設移行への課題は。</p> <p>(3) 事業継続を希望する個々の事業者に対し、寄り添ったきめ細やかな対応をしているか。</p>
		5 織笠大橋の歩道設置について	<p>織笠大橋に歩道がないため、以前より歩道を設置してほしいとの町民の声がある。歩行者などの安全確保のため、歩道の設置を国や関係機関に要望すべきではないか。町の考えを問う。</p>
4	1番 阿部 幸一	1 道路整備について	<p>各種道路整備について、計画どおり順調に進んでいるようだが、これまで整備した道路等において不都合な部分はなかったのか。また、あったとしたら今後どのように整備する計画なのか詳しく示せ。</p>
		2 環境整備について	<p>昨年の台風被害で岸壁に揚げた流木について現在もそのまま放置しているが、いつまで放置する考えか。今では一般廃棄物と産業廃棄物も捨てられているが詳しく示せ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	1 番 阿部 幸一	3 林地開発について	浦の浜地区の林地開発については岩手県による現地調査が終了したようだが、その結果について詳しく示せ。また、それに伴い発生した抜根の処理内容についても詳細に示せ。
		4 山田町の経済について	平成 30 年度の町の経済はどのようなようになる見通しか町の考えを示せ。
		5 下水道について	供用から 3 年以内の下水道接続工事に対し補助金を出すようだが、この制度はいつから始まり、いつまで実施するのか及び対象者、補助率等詳しく示せ。
		6 コミュニティーについて	地域コミュニティーの再構築の支援や地域活動の後押しを行うようだが、どのような形でどのように支援するのか詳しく示せ。 細浦地区の広場整備について、詳細に示せ。
5	5 番 田老 賢也	1 健康と福祉の充実について	(1) 医師の招へい活動を継続とあるが、同様の活動継続で医師は確保できそうか。 (2) 医療費適正化対策とあるが、どのような対策を取るのか。
		2 移住定住支援について	(1) 配置される移住コーディネーターの業務内容はどのようなものか。 (2) 空き家を移住希望者受け入れに有効活用するとあるが、どのような仕組みを予定しているか。
		3 観光の振興について	各種観光への海童丸の活用予定はあるか。
		4 教育行政について	配置される地域と学校をつなぐコーディネーターの業務内容は。
		5 町ホームページについて	町ホームページを改修する計画があるようだが、どのようなホームページにするのか。 また構築・管理等は誰が行う予定か。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	5番 田老 賢也	6 まちなか交流センターの管理運営について	<p>現在、まちなか交流センターの利用には数日前の予約が必要なため急な利用等ができず、また予約するために役場への来庁が必要で、利用者からすると不便な状況である。</p> <p>管理運営について見直す予定はないか。</p>
6	3番 佐藤 克典	1 大沢浜川目地区の海岸防潮堤について	<p>震災から7年が経過しようとしているが、浜川目地区の排水処理施設付近から西側数100メートルの防潮堤が被災したままの状態、いまだ復旧の兆しが無い。地域住民はこのまま置き去りになるのではないかと懸念している。未着工の原因は何なのか、今後、復旧の計画はあるのか。また、町内にこのような被災箇所が他にもあるのか併せて伺う。</p>
		2 農林業の振興について	<p>(1) 農業委員会、農地中間管理機構と一体となり、農地の集積、遊休農地の解消を推進するとのこと。このことは農地を守るには必要不可欠なことと認識している。28年第3回定例会において遊休農地解消のため田名部地区の小規模圃場整備の実施について質問したが、その後の町の動きはどうなっているのか伺う。</p> <p>(2) 野菜について新品種の導入や収穫時期を調整するなどして所得向上につなげたいとのことだが、どの品種の導入計画か。また収穫時期の調整の具体について伺う。</p>
		3 移住定住支援について	<p>山田町に興味・関心を持っている方々が、一人でも多く移住・定住に前向きになっていただけるよう移住コーディネーターを配置し、きめ細やかな相談・支援ができる体制を構築するとのことだが、この移住コーディネーターの身分は、町の職員としてその職責を担うのか。また職務内容について伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	3番 佐藤 克典	4 交通網について	三陸沿岸道路山田北インターの「フルインター化」は町民、特に豊間根地区住民や豊間根地区で働いている宮古市民にとって悲願である。実現のため宮古市と連携し、国に働きかけるとのことだが、どのような形で要望活動を行うのか伺う。
		5 住環境の整備について	町営住宅の管理については、入居者の問い合わせ等に迅速かつ、きめ細かく対応するため、民間事業者を活用した「町営住宅指定管理事業」を導入することだが、指定管理者にはどのような組織を考えているのか。また、どの職務を担うのか併せて伺う。
		6 学校教育について	学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画できるコミュニティ・スクールを導入することだが、詳しい内容について伺う。
7	7番 尾形 英明	1 豊間根三鉄駅舎付近に公衆用トイレの設置について	豊間根の三鉄駅舎付近に公衆用トイレの設置を望む、その理由として、付近にスーパーやコンビニがないため、一般客が公衆用トイレを探している状況だ。JR東日本からの移管金などを利用しての設置を望むが、当局の考えを伺う。
		2 山田北インターのフルインター化について	この件については、26年12月定例会で私が質問してから同僚議員など何度も質問している。来年度、宮古市と連携しながら、国に対して働きかけると言っているが、どのような対策や取り組みなど考えているのか伺う。
		3 町道白山・船石線の歩道設置について	道路幅員が狭いと思われるが、どのような構造で計画するのか伺う。
		4 火災予防対策について	消防水利の不足する地域とは、どこなのか。消火栓や貯水槽の不足だけなのか。消防水利には河川や海も含まれているので河川の河道整備や浚渫なども望むが、当局の考えを伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	7番 尾形 英明	5 応急仮設住宅集約化計画の見直しについて	今、掲げている計画の何を見直すのか伺う。
		6 豊間根地区の排水路整備について	豊間根地区排水路整備を30年度は勝山地区の工事着手と言っているが、今年度、残り1か月で全体計画が決定するのか伺う。
		7 外国語指導助手や学校支援員の増員について	外国語の授業時数の増加や児童生徒などの多岐にわたる対応のため増員するようだが、この人数で教育環境の充実が図れるのか、教育長、教育委員会の考えを伺う。
8	10番 坂本 正	1 道路整備について	各種道路整備については、計画どおりに順調に進んでいるようだが、これまで整備した道路等において、不都合な部分はなかったのか。 また、織笠・外山線、新田・草木線は今後どのように整備する計画なのか詳しく示せ。
		2 観光振興について	前山田病院を新たな観光拠点として取得するようだが、その財源を含め活用計画を具体的に示せ。
		3 思いやり政治について	思いやりのある政治のもと諸問題について、正面から向き合ってきたとあるが、どの信念でどのように向き合ってきたのか示せ。
		4 コミュニティーについて	地域コミュニティーの再構築、地域活動の後押しを行うようだが、どのような形でどのような支援をするのか詳しく示せ。 また、細浦地区の広場整備について、詳しく示せ。
		5 火災予防対策について	消防水利の不足する地域に対して、地下式消火栓及び耐震性貯水槽を計画的に設置していくようだが、町には何か所ぐらいそういうところがあるか示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	4番 黒沢 一成	1 紳士協定について	<p>原子力発電環境整備機構（NUMO）では、放射性廃棄物の最終処分場を探している。地層処分に関する「科学的特性マップ」を提示している。全国の沿岸地域のほぼ全域で適性があることになるが、万が一の事故のときには広範囲に被害が及ぶことは、震災時の福島事故から明らかである。本町のみならず近隣への誘致は絶対あってはならない。</p> <p>そこで「広範囲に汚染や被害の可能性のある施設誘致において近隣四市町村に配慮する条例」（紳士協定）を制定すべきと考える。</p> <p>その内容は「施設誘致においては近隣市町村の同意を得なければならない」こと、また「施設の稼働については、近隣市町村にも同様の権利を与え、交渉に参加させなければならない」こととする。無論、同様の条例を近隣市町村にも制定していただく必要がある。</p> <p>執行部の見解を問う。</p>
		2 津波記念碑等について	<p>（1）山田地区中心部の公園内に津波記念碑を建設する考えであるようだが、中心部の公園とはどこで、どのような碑になるのか公園と一体化するのか。また、亡くなられた方全員の名前を刻むべきと考えるが。</p> <p>（2）震災の規模を残すという意味でも、津波到達点、津波到達高さを示す表示を各所に設置すべきでは。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	4番 黒沢 一成	3 仮設・みなし仮設の状況について	<p>(1) アパートを借りたくても、空きがないため困っている方がいるようだが、みなし仮設として利用されているアパート・空き家の状況はどうなっているか。そして、新居が定まらないうちは仮設を追い出されることはあってはならないことだが、大丈夫か。</p> <p>(2) 「豊かな浜の担い手育成事業」で新規就業者に対する助成もあるが、町外からの体験などの受け入れを考えたとき、住むところがないのが実情である、仮設住宅の一部を残して対応することはできないか。</p> <p>(3) 仮設備品の譲渡について、県では照明・エアコン等も無償譲渡の対象と考えているようだが、条件として建物の撤去時まで残っている方に限るようである。現実的に今後は、新たな入居はないと思われる。現在、仮設に残っているのは、復興が後回しになった山田中心部の方がほとんどである。これから仮設を出る方には持ち出しを可としても良いのでは。</p>
		4 町民運動会の開催について	<p>山谷の総合運動公園に人工芝のラグビー・サッカー場が整備され、今後の利用促進が期待される場所である。その一つとして町民運動会を行ってはどうか。山田地区はまだ復興半ばで人集めも難しいかと思うが、他地区はある程度落ち着いてきているように思える。町民グラウンドが以前の形に戻るには、まだ4～5年はかかるとと思われる。一般町民へのお披露目もかねて企画してはどうか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	11 番 菊地 光明	1 男女共同参画について	今回の施政方針について、これまで歴代の首長は女性の社会進出や活躍に対しての思いを発信してきたが、今回の施政方針には1行もなく残念である。特に、今開催されているオリンピックで活躍しているアスリートの中に女性も多い中、町は女性の社会進出について、どう考えているのか詳しく示せ。また、担当部署についても示せ。
		2 施設の長寿命化等について	各種集会所について、長寿命化を図るようだが、同じように体育館を始めとするスポーツ施設はどうか。特に屋根のさび付きが目立つのが高規格道路から見える桜野地区の体育館であるがどうか。また、被災した大沢、山田、織笠、船越地区の集会所の再建について着手するようだが詳しく示せ。被災しなかった織笠の集会所も被災した集会所と同様の再建方法か。
		3 産業振興について	(1) 各種イベントなどを通じて、殻付きカキのブランド再生に取り組むようだが、これからは自らの力でブランド化再生並びに出張販売に取り組んでいる漁家の皆様に交通費等の補助制度を考え、振興を推進するべきと考えるがどうか。 (2) アワビ、ナマコの種苗法流事業の継続は大変良いことであるが、現在までの放流事業の効果調査をしているのか。また、調査内容により将来計画すべき問題点は何か詳しく示せ。 (3) 漁具等倉庫復旧整備支援事業により現在まで何人の漁家が活用して今後何人の予定があるのか。また、支援事業の補助率等詳しく示せ。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	11 番 菊地 光明	3 産業振興について (つづき)	(4) 新規就業者に対しての助成について、現在まで何人が利用して何人が就業しているのか詳しく示せ。 (5) 今後のブランド化の取り組みについて詳しく示せ。
		4 観光振興について	(1) 前山田病院を新たな観光拠点として取得するようだが、この観光拠点となる施設の目的や規模等財源を含め活用計画等具体的に示せ (2) 山田湾は国立公園で最北の海域公園地区に指定されるようだが、この指定についてメリット、デメリットについて詳しく示せ。
		5 奨学金について	32 年度までの期間限定で返還不要の給付型奨学金を設定しているようだが、この奨学金について 29 年度何人募集に対し何人応募したのか。また、希望しても漏れた方のその後のケアはどうだったのか。その反省の上に立って総括したのか詳しく示せ。 また、この制度が何年間継続可能か、その見通しも示せ。
		6 埋蔵文化財について	恒久的な埋蔵文化財収蔵施設の整備に着手するとのことだが、いつからどこに計画しているのか詳しく示せ。